

## やけの 焼野海岸 C.C.Z. 整備事業

受賞機関 小野田市  
山口県

はじめに

焼野海岸は、山口県小野田市の瀬戸内海に面した西向きの海岸で、周防灘に沈む夕陽が美しく、「日本の夕陽百選」に選ばれた景勝地である。背後の竜王山は、関門海峡や国東半島まで眺望できることや、1万本近い桜が植えられた公園が整備されており、市民の憩いの場となっている。

焼野海岸 C.C.Z. 整備事業は、この海と山を一体的に活用できる野外レクリエーションの場の整備を行うものである。平成6年度に C.C.Z. 整備事業として採択され、県事業、市事業及び民活事業により整備を進め、平成12年度に完成した。

事業の概要

県事業

- ・ 海岸環境整備（緩傾斜護岸880m、突堤3基、人工リーフ3基、養浜13万 m<sup>3</sup>、管理棟）
- ・ 県道交通安全施設整備（歩道設置 L = 1,200m、W = 16m）

市事業

- ・ 竜王山公園整備事業（オートキャンプ場）
- ・ 市道整備（L = 600m、W = 16m）
- ・ 排水処理施設整備
- ・ 研修宿泊施設整備（「きらら交流館」）
- ・ 民活事業 スペイン料理レストラン

総事業費 約84億円



海岸環境整備全景



潮騒の渚ゾーン

事業の特徴

海岸は、「潮騒の渚ゾーン」と「ふれあいの磯ゾーン」の2とおりのゾーンを整備し、多様な活用を可能にしている。前者は、養浜により、海水浴を主体にした利用目的に整備した。後者は、在来の岩礁を残し、潮干狩りや魚貝採取・観察など磯とのふれあいができるようにした。

研修宿泊施設は、市が運営し、誰でも安価に利用できる。1日最大100人の収容が可能であり、夕日を眺める露天風呂は、風呂のみの利用者及びオートキャンプ場客の利用も見込んでいる。

おわりに

本県でも平成11年9月の台風18号により、高潮災害が多く発生した。この時点で焼野海岸の海岸施設はほぼ完成しており、整備区間ではわずかな被害にとどまり、防災機能の効果を発揮できた。海と山のレクリエーションが同時に楽しめる多様性に加え、防災機能も併せ持つインフラであることを、今後もPRしていきたい。



海岸環境整備断面図（潮騒の渚ゾーン）